



せきしょういだい 「積小為大」

校長 本蘭 丈洋

あと1か月あまりで3学期が終了し、松ヶ浦小の1年が終わろうとしています。2月の全校朝会で子供たちに何を話そうか考えたときに「積小為大（せきしょういだい）」という言葉が浮かびました。子供たちには、ちょっと難しい言葉なので迷いましたが、どうしても伝えたいと思ったので話すことにしました。

松ヶ浦小に赴任した当初から夢や目標を明確に持ち、目標に向かって頑張りを続けることの大切さを子供たち、職員に話してきました。「継続は力なり」という言葉を掲げ、実践化をめざし、始業前のわずかな時間に体力づくりやボランティアの取組を始めました。自分自身も子供たちと共に活動することで、子供たちの頑張りを称賛し、後押ししたいと思いました。あくまでも自主性を尊重した活動なので、しっかり取り組む子供とそうでない子供がいますが、すべての子供たちが自分で考えて、できることを毎日継続して頑張る子供たちに成長してほしいと思います。

さて、「積小為大」は、江戸時代の農政家であり思想家でもある二宮尊徳（金次郎）の言葉です。尊徳は、ある時、田植えが終わった田んぼに捨てられている余った苗を見つけ、それをもらい受けて荒れ地を耕し、苗を植えて、秋には少ないながらも米を収穫できたという旨の話をお子たちにしました。そして、「小さいことを積み重ねていくことで大きなことをやり遂げることができる。これが『積小為大』ということですよ。」と話しました。

それから、自分たちの身近なことに結びつけて考えさせました。「例えばソフトボールがうまくなりたいという人は、毎日、素振りをしたり、キャッチボールの練習を続けていますね。サッカーならリフティングの練習を毎日頑張っている人もいます。読書はどうでしょう。毎日10ページ読めば1年では10ページ×365日で3650ページ読むことができます。いきなり、3650ページの本を読みなさいといわれても読めませんとなってしまいますが、1日10ページを毎日続けていくことでいつの間にかやり遂げることができる」と気づかせました。

最後にみんなで取り組んでいる朝の体力作り（かけ足）について話しました。令和4年度7月からかけ足カードを配布して記録してきました。子供たちと一緒に取り組んできた自分自身の記録をもとに「積小為大」について考えさせました。自分でもびっくりしたのですが、令和4年7月から令和6年1月までに合わせて校庭を2,550周走っていました。校庭1周が140mとすると、2550周×140mで357,000mつまり357km走ったこととなります。これをイメージしやすくすると、鹿児島中央駅から小倉駅までが356.1kmなので、鹿児島から小倉まで走ったこととなります。「いきなり、鹿児島から小倉まで走れ。」といわれてもすぐに、「無理」となってしまいますが、1日に10周走るという目標を持って続けているといつの間にか長い距離を走ったことになるので、「目標をしっかり決めて毎日継続してやり続けることが大事です」と子供たちに話しました。自分の夢・目標を叶えるためには、小さいことをこつこつ積み重ねていくことが大事です。今後も子供たちに「毎日小さなことをこつこつと継続してやり続けることの大切さ」を伝えていきたいと思っています。

名物作ったよ！

1月31日(水)に松ヶ浦っ子が松ヶ浦地区特産品開発プロジェクトで考案、販売されている「松ヶ浦いもだんご」に挑戦しました！各家庭で味は違っていたものの、松ヶ浦地区で昔から食べられていたものを残していきたいという地域の方々の思いの詰まった「いもだんご」。学校裏の農園で保護者の支援をいただきながら収穫したさつまいものペーストであんを巻いて作りました。マツカフェメンバーが来校して一人一人丁寧に教えてくださり、子供たちも満足のいもだんごができあがりました。いもペースト作りや「松ヶ浦小学校の畑産」と書かれたラベルを作成してくださる粋な演出に、「まるで商品みたい！」と子供たちも大喜びでした。お忙しい中、細やかで心のこもった御支援・御協力、本当にありがとうございました。地域の伝統をしっかりと受け継いでいきます。



| | |
|------|--|
| 名 称 | いもだんご |
| 原 材料 | さつまいも(松ヶ浦小学校の畑産)、小豆、砂糖、薄力粉、餅粉、塩(原材料の一部に小麦含む) |
| 消費期限 | 令和6年2月4日 |
| 作った人 | |



なわとび発表会

10日(土)になわとび発表会を実施しました。

3学期初めから、体育の授業をはじめ、朝の体力づくりや休み時間も目標達成に向けて一生懸命努力する子供たちの姿が見られました。

松ヶ浦小では体力づくりやボランティアに継続して取り組み、習慣化することを教育目標の一つとしています。今後も心身共に健やかでたくましい松ヶ浦っ子を目指して子供たちを支援していきます。

学力の定着に向けて

1月に、県内の5年生を対象に鹿児島県学習学力定着度調査が実施されました。松ヶ浦小では、子供たちが確かな学力を身に付けるために研究授業を通して授業改善に取り組んだり、家庭学習も工夫しながら基礎的・基本的な事項の定着や活用力をつけられるようにしています。本年度の調査結果は、以下のとおりでした。特に理科・算数においては、学習内容がよく定着していること、知識・技能の習得のために指導を充実していく教科があること、さらに、思考力・判断力・表現力を伸ばしていくために工夫改善が必要であることが分かりました。見えてきた課題を基に、今後も工夫改善しながら確かな学力の定着に向けて全職員で取り組んでいきます。

| 観点\教科 | 国語 | 社会 | 算数 | 理科 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 知識・技能 | 66.7% | 58.3% | 83.3% | 86.4% |
| 思考・判断・表現 | 65.4% | 77.8% | 71.4% | 83.3% |
| 全体通過率 | 65.9% | 64.8% | 78.1% | 85.0% |

【3月行事予定】 B校時(6, 7, 12, 14, 15, 18, 21日)



- 1日(金) 6年生を送る会③ 委員会活動⑥(2年生も参加)
- 5日(火) さくら号来校(返却のみ)
- 6日(水) 児童代表委員会⑥(2年生も参加)
- 7日(木) B校時・学級PTA
- 9日(土) 土曜授業
- 15日(金) B校時・卒業式会場設営
- 22日(金) 第77回卒業式
- 25日(月) 修了式・離任式



松ヶ浦小HP